

# インフラ整備70年 講演会(第11回)

～戦後の代表的な100プロジェクト～

## 日本の大動脈として経済の発展に貢献した 社会基盤「東海道新幹線」

### <講演プログラム>

1. 「日本の大動脈」東海道新幹線
2. 東海道新幹線建設に至る経緯
3. 東海道新幹線500キロを5年で作る
4. 新幹線の安全運行を支えてきた先進的線路メンテナンスの世界
5. 東海道新幹線がもたらしたもの～私たちは何を学ぶか?～



写真提供：東海道旅客鉄道(株)

### <講演者>

- 葛西 敬之 (JR東海 取締役名誉会長)  
須田 寛 (JR東海 相談役)  
藤井 浩 (元日本鉄道建設公団 理事)  
西條 勇 (元安藤ハザマ)  
馬場 亮介 (元JR東海 常務取締役)  
家田 仁 (政策研究大学院大学 教授)

2019年 **7月23日** (火)

講演会：17：30～19：30 (受付開始：17：00～)  
交流会：19：30～20：30

場所：政策研究大学院大学 想海樓 (そうかいろう) ホール

定員：300名

\*本講演会は、建設コンサルタンツ協会CPDプログラムとして認定されております。

\*講演会終了後、軽食による交流会を予定しています。

\*会費及び申し込み方法は裏面をご覧ください。

東海道新幹線は、55年前東京オリンピック開会直前の昭和39年10月1日に開業した。

かつて陸の王者といわれた鉄道が往時の輝きを失い、国内外で鉄道斜陽論が唱えられはじめていた時代に、在来線の狭い幅の軌道・狭軌ではなく標準軌・別線による世界初の高速鉄道を建設し、現在ではなくてはならない国家インフラとして日本経済を牽引している。

本公演では、葛西敬之氏 (JR東海名誉会長) に日本の大動脈となった東海道新幹線について、須田寛氏 (JR東海相談役) に東海道新幹線建設に至る経緯について、藤井浩氏 (元日本鉄道建設公団理事)、西條勇氏 (元安藤ハザマ) に建設工事について、馬場亮介氏 (元JR東海常務取締役) に高速鉄道の軌道について講演いただくとともに、家田仁氏 (政策研究大学院大学教授) に東海道新幹線について総括いただきます。

主催：(一社)建設コンサルタンツ協会

後援：(公社)土木学会

## 日本の大動脈として経済の発展に貢献した社会基盤「東海道新幹線」

### 《講演者略歴》

葛西 敬之(東海旅客鉄道(株) 取締役名誉会長)

須田 寛 (東海旅客鉄道(株) 相談役)

藤井 浩 (元 日本鉄道建設公団 理事)

西條 勇 (元 (株)安藤・間 札幌支店土木部長)

馬場 亮介(元 東海旅客鉄道(株) 常務取締役)

家田 仁 (政策研究大学院大学 教授)

### 会 費

#### 【講演会】

学生・75歳以上の方 : 無料  
一般の方 : 1,500円

#### 【交流会】

学生・女性の方 : 無料  
一般・75歳以上の方 : 2,000円

\*講演会及び交流会会費は、当日、会場受付にて直接お支払いください。

### 申し込み方法

- お申し込みは、建設コンサルタンツ協会HPより“インフラ整備70年”バナーをクリック頂き、「講演予定」のお申込みページからお願いします。

建設コンサルタンツ協会HP : <https://www.jcca.or.jp/>

#### (注意事項)

- ▶ お申し込みは先着順となります。定員に達し次第、締め切らせていただきます。
- ▶ 参加をキャンセルされる場合は、下記問い合わせ先にメールにてご連絡をお願いします。
- ▶ ご提供いただいた個人情報は本講演会のみで使用し、第三者には提供しません。
- ▶ 当日は、講演内容の記録として写真撮影や録画を行います。その写真を建設コンサルタンツ協会ホームページ、広報誌等に掲載させていただくことがございますので、予めご了承ください。

### 問合せ先

TEL: 03-3239-7994 / E-mail: [infra70@jcca.or.jp](mailto:infra70@jcca.or.jp) (担当: 酒井、三浦、大串)

### 「インフラ整備70年」講演の目的

20世紀後半から今日までの70年間は、我国のインフラ整備事業が最も広汎かつ大規模に進められた時期であり、現在の我国社会が享受しているインフラサービスの過半がその時期に新たに整備されたり大改良を加えられたりした事業の成果そのものであるとあって過言ではありません。それらの事業の記録はさまざま形で残されていますが、それに関わった人々の声を聴く機会は少なくなっています。

今般、(一社)建設コンサルタンツ協会では、戦後のインフラ整備事業の代表的な事例に直接、間接にかかわった方々からその経験や見聞を講演していただき、それを記録することで、インフラ整備の意義や携わった人々の偉業を、コンサルタント技術者にはもちろん、広く一般社会に伝えたいと思っています。

そのため、(一社)建設コンサルタンツ協会本部に「戦後インフラ整備事業研究会」を設置し、各種の事業の中から100プロジェクトを選び、インフラストラクチャー研究会の協力を得て、それらについての講演会を開催するものとなりました。

\*建設コンサルタンツ協会では、これまでの講演記録及び今後の予定を協会HPにて公開しています。また、各講演会の記録は、協会広報誌“Consultant”別冊として発行予定です。

### <次回講演会予定>

第12回講演会 2019年8月22日(木) 17:30~19:30 交流会: 19:30~20:30

「阪神淡路大震災 阪神高速3号神戸線復旧の軌跡」(仮)

講演者: 幸 和範、関本 宏 他

場 所: 法政大学市ヶ谷キャンパス富士見ゲート5階G503